

11/28・29 開催告知のお願い

# News Letter

2018年11月2日

報道関係各位

 一般社団法人日本能率協会  
 KAIKA 研究所

「北海道アグリ・フードプロジェクト／観光・ホテル・外食産業展」特別企画  
**『JA グループ北海道カンファレンス』と**  
**『地方創生シンポジウム』を開催！**  
**特設『震災対策ゾーン』には8社出展！**  
**キーワードは“地域活性”と“安心”！**  
**<11月28日(水)・29日(木) アクセスサッポロ>**

2018年11月28日(水)～29日(木)の2日間、アクセスサッポロ(札幌市白石区)で、“食のバリューチェーン”に関わる全ての製品・サービスが集う専門展示会「北海道アグリ・フードプロジェクト イベント&カンファレンス 2018」を開催します。また、北海道初となる、旅行、宿泊、飲食業関係者を対象とした専門展示会「観光・ホテル・外食産業展 HOKKAIDO」を同時開催します。

北海道内に加え、全国から「農業」「食」「観光」に関わる新製品やサービスが多数集結。更に、業界の最新動向を扱う充実したセミナーも多数開催します。今回、特別企画として会期中に実施される3つの注目コンテンツをご紹介します。キーワードは「地域活性」と「安心」。農業や食、旅行・宿泊業界等に関わる方々には、今まさに仕入れておきたい貴重な情報を収集できる2日間となっています。

- ①「JA グループ北海道カンファレンス」【11/28(水)AM10:30～12:00 開催】
- ②「地方創生シンポジウム」【11/29(木)AM10:00～12:00 開催】
- ③緊急設置！特設ゾーン「震災対策ゾーン」【11/28～29 展示会場内ブース】

JA グループ北海道が主催するカンファレンスでは、地域の持続可能性に不可欠な農村と都市の共生をテーマに、慶応義塾大学大学院特任教授の林美香子氏の講演と参加者との意見交換を行います。また、はまなす財団と日本能率協会の共催企画となるシンポジウムでは、えりも、知床斜里、稚内と3つの岬の観光協会が集い、今後の観光地域づくりに向けた考え方についてディスカッションを行います。

9月に発生した北海道胆振東部地震により、改めて企業や行政、個人単位にいたる事前の震災対策の重要性が認識されており、今回会場では震災対策製品・サービスの出展ブースを特設し、来場者へ有益な情報を提供します。

入場は登録制(無料)。公式ホームページにてカンファレンス等の聴講や来場登録を受付中です。

◆開催概要 <http://www.jma.or.jp/hafp/>  
<http://www.jma.or.jp/hafp/tourismhotel/>

展示会名：「北海道アグリ・フードプロジェクト イベント&カンファレンス 2018」  
 「観光・ホテル・外食産業展 HOKKAIDO」

開催期間：2018年11月28日(水)～29日(木) 9:30～16:00

会場：アクセスサッポロ(札幌市・白石区)

主催：一般社団法人日本能率協会

出展規模：136社/175ブース(2展合計、2018年11月2日現在)

来場者数：10,000名(2展合計、予定)



## 特別企画①

※敬称略

### 北海道活性の将来方向を探る「JA グループ北海道カンファレンス」

- 日時：2018年11月28日（水）10:30～12:00
- 会場：アクセスサッポロ2階 「レセプションホール」
- 定員：100名（聴講無料）
- 主催：JAグループ北海道

#### ○講師：林 美香子

- ・慶応義塾大学大学院 SDM 研究科 特任教授
- ・北海道大学大学院 農学研究院 客員教授
- ・株式会社北洋銀行 社外取締役
- ・農都共生研究会 会長 ほか



#### ○講演趣旨

地域の活性化のためには、農村と都市をトータルに捉える「農都共生」、すなわち農村と都市の共生が大切となる。都市と農村との間の情報・人材・経済の循環が農村・都市の双方に活力をもたらし、地域の持続可能性に繋がっていく。農村には地域の農業、食、景観、文化等があり、それを楽しみに農村と交流する人々の観光の営みがある。「農都共生」「農観連携」をキーワードに本道活性化の将来方向を探る。

## 特別企画②

※敬称略

### 最新着地ビジネスの事例報告「地方創生シンポジウム」

- 日時：2018年11月29日（木）10:00～12:00
- 会場：アクセスサッポロ2階 「レセプションホール」
- 定員：100名（聴講無料）
- 主催（共催）：公益財団法人はまなす財団 新観協研／  
一般社団法人日本能率協会

#### ○モデレータ：石黒 侑介

- ・北海道大学観光学高等研究センター 准教授
- ・スペイン・バルセロナ大学ホテル・観光学院客員教授
- ・公益財団法人地域総合整備財団 地域再生マネージャー
- ・一般社団法人丘のまちびえい活性化協会 外部アドバイザー ほか



#### ○事例発表者：

えりも観光協会 副会長 田中 照彦

NPO 法人知床斜里町観光協会 統括部長 新村 武志

一般社団法人稚内観光協会 常務理事 出村 賢志

#### ○講演趣旨

テーマ：「観光協会が仕掛ける最新着地ビジネスの動向」

地域活性化に向けた観光協会の役割とは何かを探るべく、着地ビジネスに取り組んでいる観光協会から、最新着地ビジネスの動向について事例報告を行い、観光協会の求められている機能や、その役割、今後の観光地域づくりに向けた考え方についてディスカッションを実施する。

## 特別企画③

### 北海道を震災から守る！「震災対策ゾーン」

○日時：2018年11月28日（水）～29日（木）9:30～16:00

○会場：アクセスサッポロ 展示会場内

「北海道アグリ・フードプロジェクト イベント&カンファレンス 2018」／  
「観光・ホテル・外食産業展 HOKKAIDO」会場内

9月に発生した北海道胆振東部地震を受け急遽特設を決定し、わずか1か月の募集期間にも関わらず我こそはと出展を決めていただけた8社の出展者をご紹介します。北海道に安心をお届けするために、道内企業に限らず、西は大分県からも駆けつけます。

非常用蓄電池や災害時ドローン、耐震用ドア、衛生製品などのとても重要な商材を扱う企業様が出展をしています。

○「震災対策ゾーン」出展者および出展予定製品 ※出展者名五十音順

#### しえん計画（ブース番号：震-84）

災害時要援護者のための階段用担架『いすたんか』

#### デンタルサロンジャパン（ブース番号：震-85）

水のいない歯みがきシート

#### 日通商事（ブース番号：震-82）

ALOEZ 防災用品シリーズ

#### 日本空撮サービス北海道（ブース番号：震-83）

- ・防災ドローン(オールインパッケージの産業モデル)
- ・災害時の捜索・誘導用カメラ、スピーカー搭載モデル

#### ぱっけーじなび（ブース番号：震-71）

- ・除菌、消臭剤、ピーズガード及び関連製品
- ・災害備蓄用生活資材(ラップ、お皿、どんぶり、ごみ袋、おしぼり)

#### フィット（ブース番号：震-72）

- ・耐震用ドア開閉補助装置
- ・衛生的な自動ラップ式トイレ
- ・その他災害対策備蓄品など

#### Loop（ブース番号：震-81）

ポータブル蓄電池及び住宅向け太陽光発電 Loop でんき

#### レンタコム北海道（ブース番号：震-73）

レンタル防災キャビネット



しえん計画「いすたんか」



Loop でんち



レンタコム北海道  
「レンタル防災キャビネット」

【お問い合わせ先】 北海道アグリ・フードプロジェクト／観光・ホテル・外食産業展事務局（担当：田中）  
一般社団法人日本能率協会 KAIKA 研究所内 TEL: 03-3434-0380  
〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22

※取材のお問合せは、広報室（TEL：03-3434-8620、担当：川村）へお願いいたします。